



# 連協道路ニュース

発行 横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会 事務局  
Tel 090-4825-7174 <http://renkyoueditor.web.fc2.com/>  
Mail: renkyoueditor@mail.goo.ne.jp

第 309 号

(創刊 1988.12.14)

2015.06.07.

## 南線計画再検討協議会設置 — 一県公害審査会へ調停申請 —

既に報告したように、南線は住民・市民の命と生活を脅かす危険な計画を含む事が判明した。すなわち釜利谷では市民に飲料水を供給する日野隧道の 6-12m 上に高速 4 車線とランプ 4 車線計 8 車線のトンネルを掘削し、1 日当たり 5 万 9 千 400 台の車が走る計画であり、築 50 年を経て老朽化した隧道に落盤事故が起きる可能性がある。

さらに笠間地区には重要なライフラインである金井汚水幹線の僅か 30cm 下に 6 車線のトンネルを掘削するという、笠間地区は腐植土から成る湿地帯であり、このような地域に汚水幹線の 30cm という超近接の形で高速トンネルを掘る計画の無謀さは住民・市民を無視したものである。

このような危険を回避するために連協は、事業者・横浜市に専門家と住民代表を加えて計画の再検討をする協議会を設置するように国交大臣、NEXCO 東日本社長、横浜市長の 3 者に 3 月 10 日と 4 月 28 日の 2 回にわたり要請書を送付した。これに対して横浜市が見当外れの回答を繰り返したほか、国交省と NEXCO 東日本からは一切回答が無く完全に無視している。

このままでは危険な計画がそのまま一方的に進められることになるため、何としても事業者らを話し合いの場に引き出すために公害紛争処理法に基づき 6 月 2 日に県の公害審査会に調停申請書を提出した。

今後は調停の場で協議会設置について話し合いを行うことになる。(法都計部)

## 土地収用は許せない！

今年度も引き続き会長の任を指名されました比留間哲生でございます。昨年は連協にとって激動の一年でした。事業者は東京でのオリンピック招致決定を背景に、横環南も完成させたいと準備したことが明白でした。

3 月に突然土地収用法による事業説明会を強行して強制収用の手続きに入ったのです。我々は法に基づき不当であると「あつせん」を県に申請しましたが拒否され、国に不服審査請求しましたが却下されたのです。しかもその最中「住民の理解を得ることが不可欠である」との原則を無視して私達の質問に答えないまま NEXCO は庄戸地区でのボーリング調査を強行しました。

しかもその騒ぎの中で収用委員会を立ち上げるべく事業認定申請をしたのです。これに対し住民から 5,000 通以上の意見書を国に提出し認定しないよう圧力を掛け、さらに引き続き行われた公聴会に連協から仲間の 13 人が厳しく事業者の不当性を追及して公述しました。しかし事業者は正当な協議を避け、手の付け易いところから準備工事に入っている状況です。これらに怯んではなりません。依然として事業の正当性は証明されていないからです。

そして今また計画の杜撰さが明らかになりました。横環南と釜利谷トンネルで水道幹線と、笠間十字路で下水道幹線との離隔が余りにも小さくこれらを破損する恐れがあると専門家から指摘されたのです。

この問題を解決するため協議会を設置せよとの私達の要求に対し国、NEXCO と市はお互いに責任をなすり合い拒否しているため新たにこの 6 月に県に対して左面記事のように調停を申請しました。(裏面へ続く)

将来の財政負担、少子高齢化と人口減少を見据え、高速道路を含むインフラ整備より保守を中心とすべきと方向転換が叫ばれています。横環南では上記の他にも新たに大きな問題点が見つっています。今年目標としてそれらを厳しく追及して事業を遅らせ、ひいては世間を味方に付けて抜本の見直しを迫り将来に禍根を残さぬよう皆様とともに頑張っていきたいと思ひます。

(会長 比留間)

## 平成27年度連協新役員決まる

【任期：6月から1年間】

(全員再任)

役職名	氏名
会長	比留間 哲生
副会長	高村 信夫
副会長	田中 克己
副会長	松本 昌司
環境部長	鈴木 伸之
環境副部長	高村 鈴子
環境副部長	横地 美農里
法都計部長	青木 達喜
法都計副部長	永田 親義
法都計副部長	高村 信夫
事務局長	長谷川 誠二
ニュース編集長	和田 雄偉
HP担当	本田 瑛美
会計	関口 豊子
会計監査	塩田 信子
顧問	柴田 哲夫
顧問	中島 仁

## グリーンテラス自治会、連協を退会

グリーンテラス本郷台自治会は、5/17日の総会で連協退会を決議し、退会しました。

南線による環境被害の最大の被害者の一つになるであろう同自治会が、道路問題の是非を十分に吟味せず退会したのは残念です。

なお実質に活動してこられた方々を中心に今後「環境を守る会」を結成して引き続き活動を行う予定です。(事務局)

## 第40回全国公害総行動報告

今年も題記の総行動が6月3日、40回目の記念大会として取り壊しが予定されている最後の日比谷公会堂で全国から約1000人が集まり互いに報告し励まし合いました。

道路全国連の橋本事務局長と連協の比留間会長が、道路関連の代表として高尾の天狗さんと舞台からエールを送りました。

これに先立ち国交省では道路関係者約33名が9名の若手の官僚と向き合い、事前に質問した項目についての回答を引き出しました。しかし全く形式的な回答に終始しその後厳しく追及しましたがはぐらかしのまま時間切れとなりました。なお連協からは5名が参加しました。

来年は6月1日に虎の門のニッショーホールで開催されます。



(日比谷公会堂での集会)

## 対外活動報告

- 05/08 区政推進課区長面談申請
- 05/15 新選出市議員12名へ協議会設置要請書送付
- 05/20 スーパー堤防裁判傍聴
- 05/20 公共事業改革市民会議世話人会
- 05/21 社会資本整備審議会へ意見陳述申入書提出
- 06/02 神奈川県公害審査会に公害調停申請
- 06/03 公害被害者総行動デー参加  
(日比谷&霞ヶ関)